

元気なまちかど

No.1 三十一文字の奥深さに触れる

あいこうかうたプロジェクト2016短歌講座

市では、市内外の人から広く短歌を募集する「あいこうかうたプロジェクト」を実施しています。その関連事業として、初心者でも楽しめる3回連続の「短歌講座」があいこうか市民ホールで開催されました。

初回の9月15日は、短歌歴60年以上、柏木短歌会所属の杉本智恵子さんを講師に、短歌の魅力が語られました。約20人の参加者は、杉本さんの思いが詰まった短歌を鑑賞し、三十一文字の奥深さに触れるひとときを過ごしました。

この後2回の講座では短歌の読み方を学び、互いの作品を発表し合う歌会が行われました。



▲短歌の魅力について語る杉本さん

No.2 木に触れ、森林の大切さを学ぶ

ウッド・ジョブ体感事業

林業を体験する「ウッド・ジョブ体感事業」が9月15日、土山中学校の1年生を対象に行われました。

これは、森林作業を見学・体験することで地域産業である林業という職業に興味を持ってもらおうと昨年度から土山中学校が実施している事業です。

この日生徒たちは、地元の木材加工施設やチップ工場の見学、のこぎり体験などに挑戦しました。慣れない作業に苦戦していましたが、「山を好きになってほしい。それが森林を守ることにつながる」という作業指導員の言葉を聞き、木に触れながら森林の大切さを学んでいました。



▲のこぎりで丸太切りに挑戦する生徒

No.3

忍者姿で甲賀流のおもてなし
水口東高校に留学生来校

県立水口東高等学校の生徒たちが9月22日、オーストラリアから来た留学生15人を忍者姿で出迎えました。

これは甲賀市のシテイセールスについて考えた生徒会執行部が中心となって企画したものです。

留学生は、「甲賀流忍者」の出迎えに驚きながらもとても喜び、折り紙で作られた手裏剣のプレゼントを笑顔で受け取りました。その後自己紹介をしたり、忍者ポーズで写真を撮ったりと親交を深めました。

留学生は同月27日まで市内に滞在し、同校で書道や音楽（琴）など日本の文化を体験しました。



▶手裏剣のプレゼントを笑顔で受け取る留学生

No.4

酒屋流麴造りを学ぼう
岩上自治振興会「ミニミニ講座」

岩上自治振興会主催の「ミニミニ講座 麴造り」が9月24日、市内の酒造会社で開催され、11人が参加しました。

麴は原料となる米などを蒸したものに種麴を散布して作られ、みそなどさまざまな発酵食品に使われています。

参加者は麴の造り方を見学しながら学び、香りや味を楽しみました。また、麴を使った塩麴や甘酒などの造り方も教わり、講座の終わりに出来たての麴を受け取った参加者は、「早速塩麴造りに挑戦したい」と意気込んでいました。



▲麴運びを手伝う参加者



▲碧川萌子さんによる記念講演

No.5

犯罪のない住みよいまちに向けて
甲賀市犯罪のないあんぜん・あんしんなまちづくり市民大会

甲賀市犯罪のないあんぜん・あんしんなまちづくり市民大会が9月25日、忍の里プララで行われ、市内各種団体関係者210人が参加しました。

大会では、県警察本部による市をとりまく犯罪情勢・自主防犯活動の重要性についての講演、高齢者の交通事故・詐欺防止の啓発劇のほか、土山わんわんパトロール隊の自主防犯活動の事例発表などが行われました。

最後に県立水口高等学校の生徒による大会宣言が行われ、「犯罪のない、安全で安心な甲賀市の実現」に向け、市民が一丸となって行動することが参加者全員の拍手によって採択されました。



▲大会宣言を行う高校生

No.6

互いの再会を喜ぶ

こうか盛人のつどい

今年で5回目となる「こうか盛人のつどい」が9月29日、あいこうか市民ホールで開かれ、約450人の来場者でにぎわいました。

このつどいは、20歳の成人式から半世紀を経て、70歳を迎えられる皆さんを中心に、多くの人々が再会と互いの活躍を喜び、より豊かな人生を過ごすことを確かめ合う機会として開催されています。

劇団おさだ塾元代表の碧川萌子さんによる記念講演や市民活動団体の実践発表のほか、お菓子・野菜の販売所や作品展、お茶席コーナーなどが設けられ、会場内には、談笑する参加者の楽しそうな声があふれていました。